

## 出動時における警察通信職員の服制及び服装に関する訓令

昭和57年8月5日(警察庁訓令第9号)

施行 昭和57年9月1日

改正 昭和61年4月5日(警察庁訓令第9号)

平成6年6月29日(警察庁訓令第8号)

平成9年4月1日(警察庁訓令第3号)

平成10年4月9日(警察庁訓令第6号)

平成13年3月30日(警察庁訓令第11号)

平成16年4月1日(警察庁訓令第7号)

平成31年4月1日(警察庁訓令第7号)

令和4年3月31日(警察庁訓令第4号)

(趣旨)

第1条 警察通信職員が災害等の警備事案の現場に出動して行う通信活動等に際して着用する帽子、ヘルメット及び出動服の服制及び服装については、この訓令の定めるところによる。

(服制及び服装)

第2条 警察通信職員は、次の各号に掲げる事務に従事する場合には、別表で定める色、地質及び制式の帽子、ヘルメット又は出動服を着用するものとする。

- (1) 大規模な災害、騒乱等の警備事案が発生し、又は発生するおそれがある場合において、その現場に出動して行う通信活動
- (2) 前号に規定する通信活動の訓練
- (3) 前2号に掲げるもののほか、管区警察局長、東京都警察情報通信部長又は北海道警察情報通信部長が定める通信活動その他の事務

附 則

この訓令は、昭和57年9月1日から施行する。

附 則〔昭61. 4. 5警庁訓9〕

この訓令は、昭和61年4月5日から施行する。

附 則〔平6. 6. 29警庁訓8〕

この訓令は、平成6年7月1日から施行する。

附 則〔平9. 4. 1警庁訓3〕

この訓令は、平成9年4月1日から施行する。

附 則〔平10. 4. 9警庁訓6〕

この訓令は、平成10年4月9日から施行する。

附 則〔平13. 3. 30警庁訓11〕

この訓令は、平成13年4月1日から施行する。

附 則〔平16. 4. 1警庁訓7〕

この訓令は、平成16年4月1日から施行する。

附 則〔平31. 4. 1警庁訓7〕

この訓令は、平成31年4月1日から施行する。

附 則〔令4. 3. 31警庁訓4〕

この訓令は、令和4年4月1日から施行する。

別表

帽子	色		濃紺色
	地質		綿織物、人造繊維織物又はこれらの混紡織物
	制	前ひさし及びあごひも	前ひさし及びあごひもは共布とする。あごひもの両端を帽体腰部の両側に縫い付ける。
		ゆるみ止め	後中央下部を裂き、両端を帽体の左右内側に縫い付けたゴム製テープを通す。
	式	き章	空色の繊維製台地に、金色のモール製日章を付ける。
帯章		附表で定める職名に応じて8種類とし、それぞれ2条の金色のモール製しま織線及び1条の空色のテترون製あや竹織へり又は1条から3条の空色のテترون製あや竹織へりを巻く。	
形状（帯章にあつては、種類を含む。）は、図第1のとおりとする。			
ヘルメット	色		紺色
	地質		合成樹脂
	制	緩衝体、すべり革、ハンモック及びあごひも	帽体の内側に緩衝体、すべり革、ハンモック及び黒色の繊維製あごひもを付ける。
		き章	空色の台地に金色の日章を設けたビニール製テープを貼り付ける。
	式	帯章	附表で定める職名に応じて8種類とし、それぞれ2条の金色のビニール製テープ及び1条の空色のビニール製テープ又は1条から3条の空色のビニール製テープを背面中央部に貼り付ける。
形状（帯章にあつては、種類を含む。）は、図第2のとおりとする。			
出上	色		濃紺色
	地質		綿織物、人造繊維織物又はこれらの混紡織物
	制	襟	折り襟式、開襟小開きとし、下襟にボタン1個を付ける。
		前面	中央部を比翼とし、ボタン4個を付ける。ポケットは左右の胸部に各1個とし、ふたを付け、黒色の隠しボタ

動	衣		ン各 1 個で留める。
		胸 章	濃紺色の糸で縁取りした空色の繊維製台地に、警察通信という文字を濃紺色の糸で刺しゅうし、右胸ポケット上部に縫い付ける。
		そ で	長そでカフス式とし、黒色のボタン各 2 個を付ける。
		胴締め ひも	胴部内側にひも通しを付け、ひもを通す。
			形状は、図第 3 のとおりとする。
服	ズ ボ ン	色	上衣と同色
		地 質	上衣と同質
		制 式	長ズボンとする。すそ部内側にひも通しを付け、ひもを通す。ポケットは左右の大たい部前面に各 1 個とし、ふたを付け、黒色のボタン各 1 個で留める。  形状は、図第 3 のとおりとする。

備 考

数字は寸法を示し、単位はミリメートルとする。

附 表

帯章の種類	職 名
(1)	警察庁長官官房技術総括審議官
(2)	1 警察庁長官官房技術企画課及び通信基盤課の課長、課長に相当する職及び課長に準ずる職 2 管区警察局情報通信部等の部長 3 警察大学校附属警察情報通信学校長 4 規模の大きい府県情報通信部の部長
(3)	1 警察庁長官官房技術企画課及び通信基盤課の技術指導官及び課長補佐(庶務担当) 2 規模の大きい管区警察局情報通信部等の課長 3 警察大学校附属警察情報通信学校の部長 4 府県情報通信部等の部長及び支部長
(4)	1 警察庁長官官房技術企画課及び通信基盤課の課長補佐、技術専門官及び専門官 2 管区警察局情報通信部等の課長、課長補佐、機動通信指導専門官及び現業管理官 3 警察大学校附属警察情報通信学校の教授(部長である教授を除く。) 4 府県情報通信部等の課長及び支所長 5 規模の大きい府県情報通信局部の課長補佐、機動通信指導専門官及び現業管理官
(5)	1 警察庁長官官房技術企画課及び通信基盤課の係長及び主査 2 管区警察局情報通信部等の技術専門官及び機動通信指導専門官 3 警察大学校附属警察情報通信学校の助教授 4 府県情報通信部等の課長補佐、機動通信指導専門官及び現業管理官
(6)	1 警察庁長官官房技術企画課及び通信基盤課の主任 2 管区警察局情報通信部等の係長 3 警察大学校附属警察情報通信学校の主任 4 府県情報通信部等の係長
(7)	1 警察庁長官官房技術企画課及び通信基盤課の係員 2 管区警察局情報通信部等の主任 3 警察大学校附属警察情報通信学校の係員 4 府県情報通信部等の主任
(8)	1 管区警察局情報通信部等の係員 2 府県情報通信部等の係員

(注1) 「管区警察局情報通信部等」とは、管区警察局情報通信部、四国警察支局情報通信部、東京都警察情報通信部(多摩通信支部を除く。)及び北海道警察情報通信部(方面情報通信部を除く。)をいう。

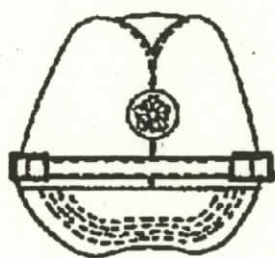
(注2) 「府県情報通信部等」とは、府県情報通信部(県情報通信部を含む。)、東京都警察情報通信部多摩通信支部及び北海道警察情報通信部方面情報通信部をいう。

[本表改正・昭61警庁訓9・平6警庁訓8・平9警庁訓3・平10警庁訓6・平13警庁訓11・平16警庁訓7・平31警庁訓7・令4警庁訓4]

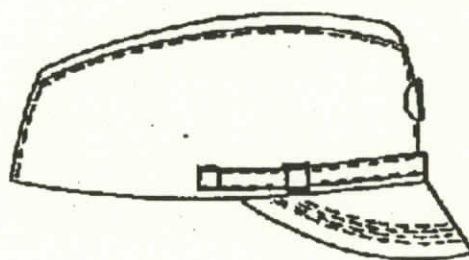
図第1

帽子

前面



側面

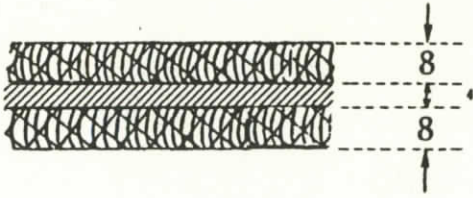


き章

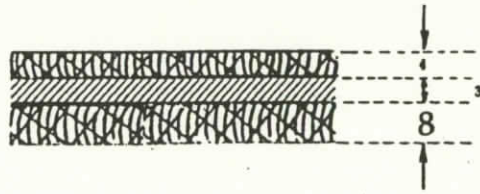


帯章

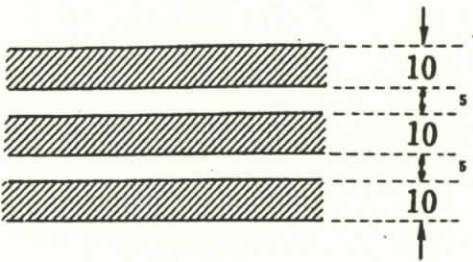
(1)



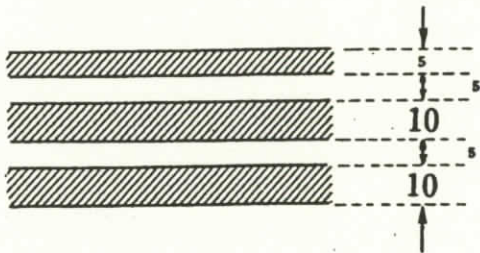
(2)



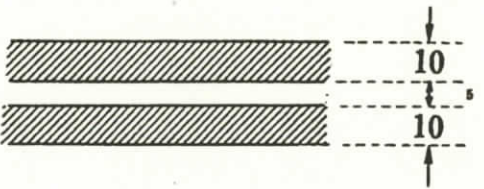
(3)



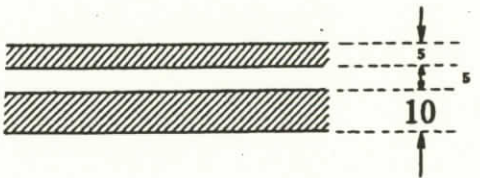
(4)



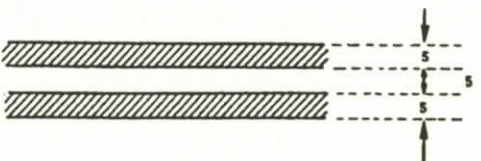
(5)



(6)



(7)



(8)



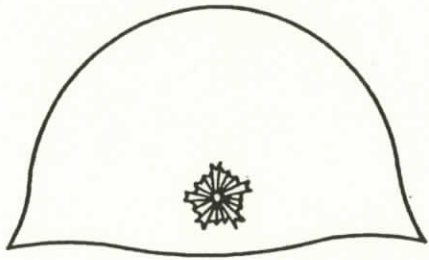
(注) 金色のモール製しま織線

空色のテトロン製あや竹織へり

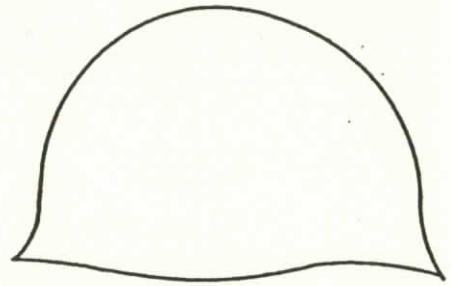
図第2

ヘルメット

前面



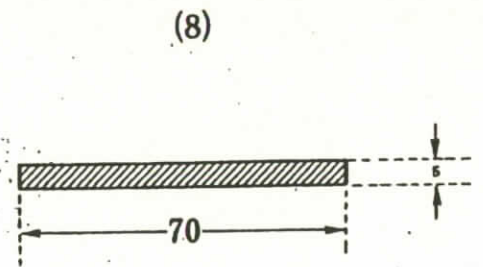
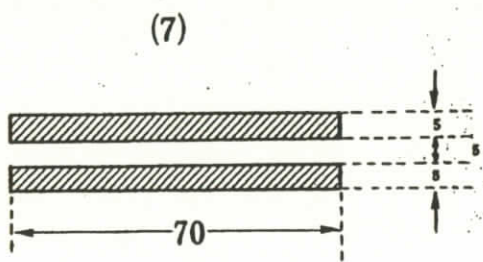
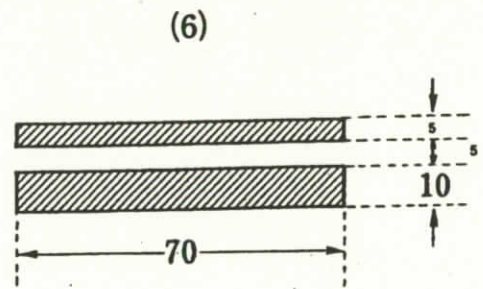
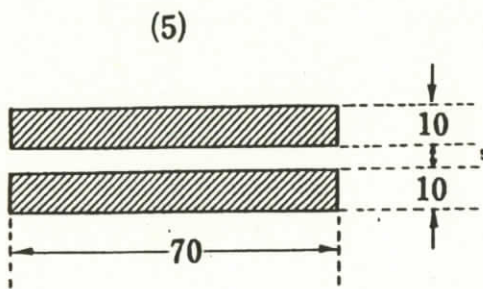
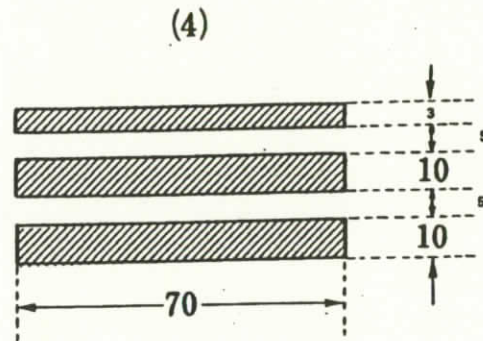
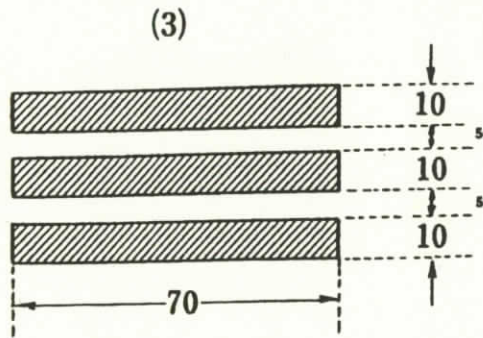
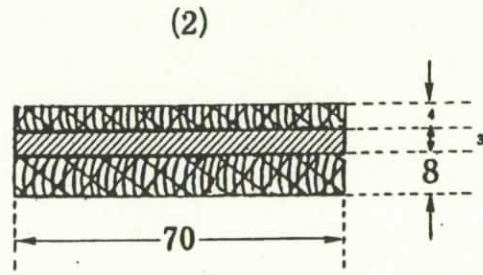
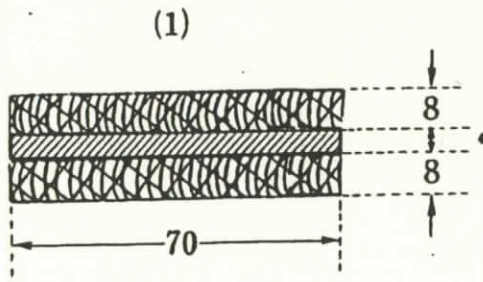
側面



き章



帯章



(注) 金色のビニール製テープ



空色のビニール製テープ



図第3

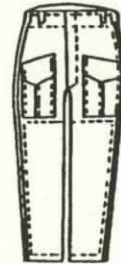
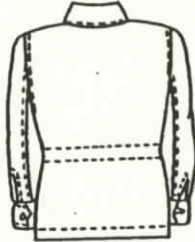
出 動 服

上 衣

ズボン

前 面

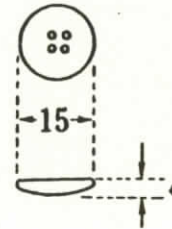
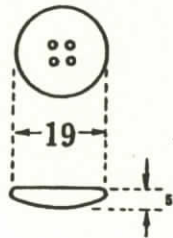
後 面



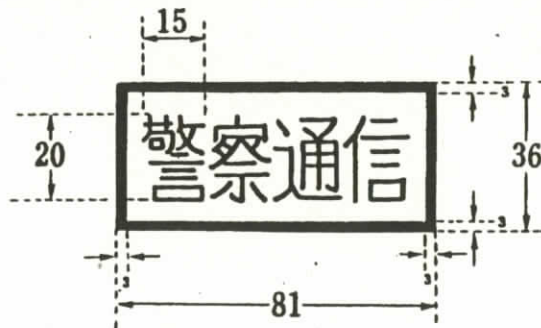
ボ タ ン

前みごろ及びズボンポケット

襟、そで及び上衣ポケット



胸 章



(注) 字は丸ゴシックとする。